

・料 何故今、樋橋地区開発なのか・・・

市 人口減少はどこの自治体も直面している喫緊の課題であり、その対策のひとつとして樋橋地区の開発構想が生まれた。

・イオンありきの進め方は同調できない・・・

イオンとは現時点では決定していない。ただし集客能力が高く、雇用の拡大が望まれる施設でなければならない。

・佐久平一極集中はおかしい・・・

一極集中とは感じていない。まず核をつくり、佐久全体が活性化するのがベスト

・他の地域にも活性化計画を進めて欲しい・・・

佐久を活性化するには飲食関係は雇用の場が増えメリットがある。

・佐久市の支出はいくらか・・・

道路関係のみで3年間で約13億円くらいを予定。

・樋橋地区に出店、或いは既存店に対し振興策はあるのか・・・

佐久市制度資金等の活用、補助金活用できれば支援したい。

・出店にあたり窓口は・・・

アメックス（農協）が管理。佐久市でも対応可能。

・CCRC 構想（高齢者が元気な内に移住し終身過ごすことが可能な生活共同体）は佐久平駅周辺より市街地の方がいいのではないか・・・

都会からの移住者は田舎型、都市型 2 パターンに別れる。樋田地区の場合、富裕層をターゲットにしたい。

・佐久の人口は減少し続けるのに大型店はいらぬ・・・

平成 70 年 78,000 人の試算。佐久平エリアの集客力アップ、雇用増により人口減を少しでも緩和する事によって、全体の経済を守れる。